

# 船井学術賞・船井研究奨励賞の募集要項

1. 名称：船井学術賞  
船井研究奨励賞
2. 目的：情報技術、情報科学に関する研究について顕著な功績のあった者を褒賞しわが国の情報技術、情報科学に関する研究の向上発展に寄与することを目的とする。
3. 候補者資格  
船井学術賞：国内の大学あるいは公的研究機関に所属する研究者（民間企業に在籍している人は除く）で、平成23年10月1日現在39歳以下を対象とする。  
各大学及び公的研究機関に於いて複数の応募が可能。  
  
船井研究奨励賞：国内の大学あるいは公的研究機関に所属する博士号取得後3年以内の研究者を対象とする。  
各大学及び公的研究機関に於いて複数の応募が可能。
4. 対象研究分野：エレクトロニクス、メカトロニクス、コンピュータサイエンス、映像情報メディアなど  
広く情報科学、情報技術に関連した分野
5. 褒賞金額／件数：船井学術賞 6件（船井哲良特別賞 300万円 x 1件、150万円 x 5件）  
船井研究奨励賞 50万円 x 12件
6. 推薦方法：（1）候補者の所属する、国内の大学の学科長・専攻長等あるいは公的研究機関の所属長等からの推薦  
（2）本財団の理事、評議員による推薦
7. 推薦受付期間：平成23年10月1日～平成24年1月31日
8. 選考方法：選考委員会において選考し、理事長が決定する。
9. 発表時期：平成24年3月初旬  
選考結果を本人に通知する。
10. 授賞式：平成24年4月下旬
11. 選考委員会：委員 木村磐根 京都大学 名誉教授  
小野雄三 立命館大学 教授  
今井 浩 東京大学大学院 教授  
川本広行 早稲田大学理工学術院 教授  
中井英夫 船井電機株式会社 上席執行役員  
下村 威 船井電機株式会社開発技術本部
12. 応募書類：下記の書類を事務局宛ご郵送下さい。  
（1）候補者推薦書＊  
（2）候補者業績内容＊  
（3）関連業績リストとその別刷りまたはコピー（指定フォームはありません）

\*推薦書、業績内容のファイルは、下記のホームページからダウンロードして下さい。

<船井学術賞>

WORD: <http://www.funai.or.jp/images/gakujutu11.zip>

<船井研究奨励賞>

WORD: <http://www.funai.or.jp/images/syorei11.zip>

(注) 応募書類 (含む研究論文等の書類) は受賞の有無にかかわらず返却致しません。

1 3. 送付先:

〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-11-5

公益財団法人 船井情報科学振興財団 事務局宛

1 4. 応募についての問い合わせ

事務局 電話 : 03-3254-5635

FAX : 03-3254-0168

E-Mail : [funai\\_a@funai.or.jp](mailto:funai_a@funai.or.jp)

HP : <http://www.funai.or.jp>

AM10:00~PM 4:00 まで (土日、祝祭日、年末年始等を除く)

## 2011年度 船井学術賞 候補者推薦書

候 補 者				
フリガナ		生年月日	西暦	年 月 日
氏 名	印	年齢	歳	2011年10月1日現在
フリガナ				役 職
所属先名				
所属先住所	〒 _____			
	電 話	FAX	E-Mail	
最終学歴		学科 (専攻)		卒業 (修了) 年次
略歴：				
対象となる研究および業績				
業績	評価の対象となる研究および業績名 (40文字以下)			
概要・詳細	候補者の研究および業績内容 (別紙様式のA4用紙) に下記を記載してください。 1. 400字程度の概要 2. 研究および業績の詳細 (業績の独創性、学術的貢献、産業社会上の効果)			
受賞歴				
受賞歴	候補者が過去に受けた賞 (年・受賞名)			
推 薦 者				
氏名	印	役職名		
所属先名			電話番号	
所属先住所	〒 _____			
推薦理由	別紙記載可			
連絡事項 (事務局に事前に連絡しておきたいことがあればご記入下さい)				

# 2011 年度 船井学術賞 候補者業績内容

候補者氏名：

業 績：

業績概要（概要について、400 字程度で記載してください）

## 業績詳細

業績の独創性、学術的貢献、産業社会上の効果の項目に分け、計1000字程度で記入してください。また、代表的な論文、学会発表、特許等について、著者名、タイトル、掲載の詳細のリストを作成してください。重要と考えられるものについては、別刷、コピーを添付してください。

## 2011 年度 船井研究奨励賞 候補者推薦書

候 補 者				
フリガナ		生年月日	西暦	年 月 日
氏 名	印	年 齢	歳	2011 年 10 月 1 日現在
フリガナ				役 職
所属先名				
所属先住所	〒 _____			
	電 話	FAX	E-Mail	
最終学歴		学科 (専攻)		卒業 (修了) 年次
略歴：				
対象となる研究および業績				
業績	評価の対象となる研究および業績名 (40 文字以下)			
概要・詳細	候補者の研究および業績内容 (別紙様式の A4 用紙) に下記を記載してください。 1. 400 字程度の概要 2. 研究および業績の詳細 (業績の独創性、学術的貢献、産業社会上の効果)			
受賞歴				
受賞歴	候補者が過去に受けた賞 (年・受賞名)			
推 薦 者				
氏名		印	役職名	
所属先名			電話番号	
所属先住所	〒 _____			
推薦理由	別紙記載可			
連絡事項 (事務局に事前に連絡しておきたいことがあればご記入下さい)				

# 2011 年度 船井研究奨励賞 候補者研究業績内容

候補者氏名：

研究および業績：

研究および業績概要（概要について、400 字程度で記載してください）

研究および業績詳細

研究および業績の独創性、学術的貢献、産業社会上の効果の項目に分け、計1000字程度で記入してください。また、代表的な論文、学会発表、特許等について、著者名、タイトル、掲載の詳細のリストを作成してください。重要と考えられるものについては、別刷、コピーを添付してください。

THE FUNAI FOUNDATION for  
INFORMATION TECHNOLOGY  
2011-2012



FFIT

褒賞事業、奨学事業により人材育成に貢献します



公益財団法人 船井情報科学振興財団



FFITは、優れた若手研究者への褒賞事業及び  
留学を目指す優秀な学生への奨学事業によって、  
広く世界に貢献します。

船井情報科学振興財団は、船井電機株式会社創業者船井哲良が個人財産を拠出して、2001年4月25日文部科学省の許可を得て設立されました。その後、法人制度の改革により、2011年3月30日、公益財団法人として認定されました。

科学技術は絶え間ない研究により急速な発展を遂げております。わが国は科学技術先進国として世界に貢献する使命を持続的に果たす必要があります。そのためには、さらなる高度な研究開発の推進、グローバルな視野をもった優れた人材の育成が不可欠です。当財団は、情報科学、情報技術分野、および、広くそれに関連した理系分野において、顕著な研究業績をあげた若手研究者の褒賞を通じて、一層の研究の推進を支援します。また、海外大学への留学を目指す積極的で意欲ある優秀な学生に授業料、生活費などの奨学金を支給することにより、若者の留学意欲を高め、広い視野をもった人材の育成に貢献します。これらの褒賞事業、奨学事業を通して、船井情報科学振興財団は、わが国の科学技術の発展に貢献するとともに、近隣諸国の発展にも寄与し、広く世界に貢献したいと考えております。

公益財団法人 船井情報科学振興財団 理事長

船井哲良



● 平成22年度 船井学術賞 受賞者／8件

船井哲良特別賞



河原林 健一

国立情報学研究所 教授

アルゴリズム的グラフマイナー理論の研究とその応用



渋谷 哲朗

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 准教授

大規模高次元構造データベース検索のための革新的アルゴリズム設計パラダイムの創造



小林 研介

京都大学化学研究所 准教授

量子多体効果に基づく半導体デバイスの開発とそのダイナミクスの研究



齊藤 英治

東北大学金属材料研究所 教授

スピン流の伝送技術と基礎物理の開拓



林 正人

東北大学大学院情報科学研究科 准教授

ユニバーサル量子情報プロトコルの構築と量子暗号への応用



山下 淳

静岡大学工学部機械工学科 准教授

見え難い情報を見るセンサ情報処理に関する研究



四方 博之

関西大学システム理工学部 准教授

無線通信システムにおけるクロスレイヤ最適化に関する研究



圓道 知博

名古屋大学大学院工学研究科 助教

全周囲の光線を再現する三次元画像表示の研究

● 平成22年度 船井研究奨励賞 受賞者／14件

氏名	所属先/役職	対象業績
岡本 正吾	名古屋大学大学院工学研究科 助教	複数触感因子の遠隔伝達技術および通信遅延が知覚へ与える影響に関する研究
五十嵐悠紀	筑波大学大学院システム情報工学研究科 日本学術振興会特別研究員	3次元モデリングと力学シミュレーションを融合したインタラクティブデザイン
金子めぐみ	京都大学大学院情報学研究所 助教	マルチキャリア・マルチリレーを用いた無線通信システムのためのリソース割り当て法
谷川 真一	京都大学数理解析研究所 日本学術振興会特別研究員	剛性理論の数学的基盤とその応用に関する研究
渡辺 峻	徳島大学工学部知能情報工学科 助教	量子鍵配送プロトコルにおける通信路推定と後処理に関する研究
安藤 和也	東北大学金属材料研究所 助教	磁化ダイナミクスおよび光スピンと結合したスピン流物性に関する研究
森勢 将雅	立命館大学情報理工学部 助教	高品質声質制御を実現する音声合成システムの研究開発
松嶋 徹	京都大学大学院工学研究科 助教	高速デジタル回路基板の信号系におけるコンモド発生メカニズムの解明とその低減法の開発
水野 洋輔	東京工業大学精密工学研究所 日本学術振興会特別研究員	光ファイバを用いた計測技術に関する研究
鈴木 健仁	茨城大学工学部電気電子工学科 助教	ミリ波大面積平面波励振高効率アンテナの高速高精度電磁界解析の研究
新津 葵一	群馬大学大学院工学研究科 助教	誘導結合型積層チップ間インタフェースを用いた三次元プロセッサの開発
内山 彰	大阪大学大学院情報科学研究科 特任助教	無線ネットワークにおける端末の位置推定法に関する研究
深川 弘彦	NHK放送技術研究所 研究員	有機半導体の電子物性解明及びフレキシブルディスプレイ用有機デバイスへの応用に関する研究
南川 丈夫	大阪大学大学院基礎工学研究科 日本学術振興会特別研究員	2光子検出器を用いた高精度パルス同期システムの開発とCARS顕微鏡への応用

● 平成23年度 第10回 FIT船井業績賞 受賞者／1件

氏名	所属先/役職	対象業績
広瀬 真人	(株)本田技術研究所基礎技術研究センター 主席研究員	人型ロボット駆動機構の開発と人間共存社会構築への貢献

● 平成23年度 第10回 Funai Overseas Scholarship 受与者／5件

氏名	出身大学	コース	留学先
岡本 尚也	慶応大学大学院理工学研究科	Ph.D.	University of Cambridge
方 弘毅	東京大学大学院工学系研究科	Ph.D.	Massachusetts Institute of Technology
牛込 陽介	東京大学大学院情報理工学系研究科	Master	Royal College of Art
山本 薫	京都大学大学院工学研究科	Ph.D.	University of Cambridge
高橋亜希子	京都大学大学院情報学研究所	1年留学	University of Arts and Industrial Design Linz

所属先・役職は受賞時のものです

## 奨学事業

### ■ 日本人留学生奨学事業 (Funai Overseas Scholarship)

情報科学・情報技術分野、あるいは、広くそれに関連した理系分野において、海外の大学の大学院に入学してPh.D.取得を目指す者に奨学金を支給する。

- 資格 日本国籍を有する者とする  
 募集人数 10名程度/年  
 支援内容 授業料:全額(通常3万米ドル程度)  
 医療保険費:全額  
 生活費:2500米ドル/月  
 支度金:50万円  
 渡航費:往復航空運賃  
 支援期間 原則2年間(特別な事情があるときには、延長を認める場合がある)  
 募集方法 募集要項を大学に送付するとともにホームページで公表  
 推薦 本人の能力、人柄を知る学術関係者1名以上からの推薦状を必要とします  
 選考方法 学識経験者で構成される選考委員会で書類選考、面接選考を行ない、理事長が決定  
 ※詳しくは <http://www.funai.or.jp>

## 褒賞事業

情報科学・情報技術関連分野において、顕著な研究業績のあった大学または公的研究機関に所属する若手研究者を船井学術賞、船井研究奨励賞として褒賞し、わが国の科学技術に関する研究の向上発展に寄与することを目的とします。

- 船井学術賞…………… 8件/年  
(船井哲良特別賞300万円×1件・学術賞150万円×7件)
- 船井研究奨励賞…………… 14件/年  
(研究奨励賞50万円×14件)

- 対象分野 エレクトロニクス、メカトロニクス、コンピュータサイエンス、映像情報メディアなど、広く情報科学、情報技術に関連した分野  
 資格 国内の大学あるいは公的研究機関に所属する若手の研究者(国籍は問いません)。船井学術賞は39歳以下、船井研究奨励賞は、博士号取得後3年以内の研究者を対象とします  
 選考方法 選考委員会において書類選考し、理事長が決定  
 推薦 被推薦者の所属する国内の大学の学科長・専攻長もしくは、公的研究機関の所属長などからの推薦、又は、本財団の理事・評議員による推薦  
 募集期間 毎年10月1日～翌年1月31日(予定)  
 ※詳しくは <http://www.funai.or.jp>

### ■ FIT船井賞

FIT(情報科学技術フォーラム)において、学術または関連事業に対し顕著な業績を上げた者を「FIT船井業績賞」、優秀論文を「FIT船井ベストペーパー賞」として表彰し、わが国の情報科学・情報技術に関する研究の向上発展に寄与することを目的とします。

※FITとは、(財)電子情報通信学会、情報・システムソサエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ及び(財)情報処理学会が共催するフォーラム。

- FIT船井業績賞…………… 100万円(1件/年)
- FIT船井ベストペーパー賞…………… 20万円(3件/年)

募集時期 毎年3月中旬～4月30日(予定)  
 ※詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2012/index.html>

## 財団概要

設立年月日 2001年4月25日  
 主務官庁 内閣府  
 基本財産 船井電機株式会社株式154万株

## 役員

理事長	船井 哲良	船井電機株式会社 取締役・執行役員会長
副理事長	船井 哲雄	旭川厚生病院呼吸器外科 主任部長
業務執行理事	益田 隆司	東京大学名誉教授
理事	佐々木 正	佐々木正事務所 代表
	野田 一夫	多摩大学 名誉学長
	有山 正孝	電気通信大学 元学長
	國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部 教授
	中井 英夫	船井電機株式会社 上席執行役員
監事	小谷野 幹雄	公認会計士
	射手 矢好雄	弁護士
評議員	西川 禎一	大阪工業大学 元学長
	米本 光男	船井電機株式会社 取締役
	田代 守彦	株式会社トーマン 元社長
	海老根 靖典	藤沢市市長
	岩木 清人	株式会社バンクエーション 取締役
	林 朝則	船井電機株式会社 代表取締役・執行役員社長
褒賞事業 選考委員	木村 磐根	京都大学 名誉教授
	小野 雄三	立命館大学理工学部電子光情報工学科 教授
	今井 浩	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
	川本 広行	早稲田大学理工学術院機械工学科 教授
	中井 英夫	船井電機株式会社 上席執行役員
	下村 威	船井電機株式会社 開発技術本部
奨学事業 選考委員	有村 博紀	北海道大学大学院情報科学研究科 教授
	千葉 滋	東京工業大学大学院情報理工学研究科 教授
	徳田 英幸	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長
	中島 秀之	公立はこだて未来大学 学長
	安浦 寛人	九州大学理事、副学長
	益田 隆司	船井情報科学振興財団 業務執行理事

\*上記の益田隆司業務執行理事以外の役員(理事長、副理事長、理事、監事、評議員、選考委員)は全員非常勤です。

2011. 4. 1現在



公益 船井情報科学振興財団

事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-11-5 船井ビル2F  
 TEL:03-3254-5635 FAX:03-3254-0168  
 e-mail: funai\_a@funai.or.jp  
 URL: <http://www.funai.or.jp>

